



南小だより

さわやかなあいさつ 明るい教室 きれいな学校

学校教育目標 「心豊かにたくましく生きる児童の育成」

かしこい子 やさしい子 たくましい子

今月の生活目標 「学校のきまりをまもろう」

平成29年4月28日

第2号

川越市立高階南小学校

子どもたちの安全のために！学校安全支援ボランティアの皆さんの活動について

校長 新井 啓太郎

運動場の木々の若葉が、薫風にそよぐ美しい季節となりました。子どもたちは、新しい通学班にも慣れ、班長さんを先頭に1列に並んで登校しています。新1年生も、上級生と一緒に元気に登校できています。そんな子どもたちを笑顔で見守り、安全に登校できるように危険な場所に立ったり、毎朝寄り添って学校まで来てくださる地域の方々がいっぱいいます。学校安全支援ボランティアのみなさんです。学校安全支援ボランティアのみなさんは、1年を通じて毎日、雨の日も風の日も雪の日も、子どもたちが安全に登下校できるように、協力してくれています。大きな荷物を抱えて歩いている子を心配して、荷物を持ってくれたり、転んで泣いている子の手を引いてくれたりと、高階南小学校区の子どものことを本当に優しく見守ってくれています。

本校の学校安全支援ボランティアさんの活動は、平成13年度から、学校と地域との連携によって始まりました。はじめは地域の方が、子どもたちの登下校や学校生活を心配して、学校にボランティアを申し出てくださったそうです。そして今年で16年目、オレンジの帽子とベストを着用して、36名のボランティアの方々が、今日も子どもたちの登下校の安全を見守ってくれています。学校では、そんなボランティアの皆さんに、感謝の気持ちを込めて「さわやかなあいさつ」ができる子どもたちの育成に努めてまいります。ご家庭でも、ご協力をお願いします。（裏面にボランティアの皆さんの名簿があります。）



気持ちのいい一日は～さわやかなあいさつ～から！

4月の学校だよりでもお話ししましたが、本校では、～さわやかなあいさつ 明るい教室 きれいな学校～を合言葉に、さわやかな気持ちのいいあいさつができる子、仲良く働いたり勉強したりできる子、黙々と掃除する子の育成に努めています。今月はその中の、～さわやかなあいさつ～についてお話します。

元気に登校する笑顔の子どもたちとあいさつを交わす時、何とも言えないさわやかな気持ちになり、心が和みます。一方で、下を向いて歩いてくる子、目が合わない子、あいさつの声が聞こえない子等々、とても心配になる子もいます。

朝、気持ちよくあいさつができない子の様子を見てみると、睡眠不足や朝寝坊、朝食を食べていない等で、家族とも朝のあいさつができていないようです。一日のあいさつの始まりは、朝起きた時の家族との元気な『おはようございます』です。このあいさつを、ぜひ大切にしてください。このあいさつが習慣になれば、必ずあいさつができる子になります。気持ちのいい朝は、気持ちのいい一日に繋がります。

学校でも、～さわやかなあいさつ～を豊かな人間関係に繋がる明るく気持ちのいいあいさつと捉え、様々な授業や行事の中で、あいさつすることの意義や大切さについて指導してまいります。ご家庭や地域の皆様も、子どもたちへのあいさつや言葉かけをお願いいたします。学校と家庭・地域が一体となって、～さわやかなあいさつ～のできる高階南小学校の子どもたちを育てていけたらと考えております。ご理解とご協力をよろしくお願いたします。